

第5回教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和3年5月21日（金）午後2時00分
- 2 開催場所 仁科台中学校 多目的室
- 3 出席委員 教 育 長 荒 井 今 朝 一
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆
委 員 仲 原 直 美
委 員 甘 利 道 子
委 員 下 川 清 志
- 4 説明のため出席した者
教 育 次 長 竹 内 紀 雄
学 校 教 育 課 長 三 原 信 治
生 涯 学 習 課 長 志 賀 一 夫
山 岳 博 物 館 副 館 長 清 水 隆 寿
学 校 指 導 主 事 中 村 一 郎
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 柳 沢 俊 樹
学校教育課学校教育係長 松 倉 康 治

《開会 午後2時00分》

荒井教育長

皆さん、こんにちは。本日は日程を変更し、仁科台中学校で開催ということでお集まりいただきました。

それでは、会議録については、ただ今回覧をしていますが、よろしいでしょうか。

〔全委員「承認」〕

それでは、署名をお願いします。

まず初めに教育長報告をいたします。

（資料に基づき説明。）

よろしいでしょうか。

〔発言なし〕

教育長報告は以上といたします。次に、行政報告第1号「不登校といじめの現状」について報告してください。

中村指導主事

（資料に基づき説明。）

荒井教育長

説明が終わりました。質問、ご意見がありましたらお願いします。

【意見なし。】

よろしいでしょうか。

このような現状であることをご理解いただきたいと思います。ま

た、保護者に早期に指導するなどして、幼児期から繋げていかなければいけないと痛切に感じております。

それでは、議事に入ります。

報告第1号「令和2年度大町市一般会計補正予算第18号について」の説明をお願いします。

竹内次長
荒井教育長

(資料に基づき説明。)

説明が終わりました。

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

それでは次に、報告第2号「令和3年度大町市一般会計補正予算第2号」について提案をしてください。

三原学校教育課長

(資料に基づき説明。)

荒井教育長

説明が終わりました。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

次に議案第24号「令和3年度大町市一般会計補正予算第3号」について説明をしてください。

三原学校教育課長

(資料に基づき説明。)

荒井教育長

提案が終わりました。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

次に、議案第25号「大町市公民館条例の一部を改正する条例制定について」の提案をしてください。

志賀生涯学習課長

(資料に基づき説明。)

荒井教育長

提案が終わりました。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

次に、議案第26号「大町市生涯学習推進プラン策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定について」の提案をしてください。

志賀生涯学習課長

(資料に基づき説明。)

荒井教育長

提案が終わりました。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

次に、議案第27号「大町市学校再編準備委員会設置要綱の制定に

ついて」の提案をしてください。

三原学校教育課長

(資料に基づき説明。)

提案が終わりました。

これは、学校再編の総括的な審議をいただく委員会となり、決定は教育委員会で行います。

よろしいでしょうか。

[発言なし]

[全委員「承認」]

以上で議事は終わりました。

次に、協議事項に入りますが、総合教育会議の協議の前に、都市計画審議会審議委員の推薦についての説明をお願いします。

柳澤庶務係長

一昨年から昨年までは甘利教育委員、その前は仲原教育委員が2年務めていただいております。

荒井教育長

引き続き、甘利教育委員さんをお願いできないでしょうか。

甘利教育委員

はい、わかりました。

荒井教育長

それでは、甘利教育委員を都市計画審議会委員に推薦したいと思います。よろしく願いいたします。

次に、来週24日に予定をされております第2回目の総合教育会議について、本日この場で結論を出すということではありませんが、現段階での各委員さんのご意見を伺いたいと思います。

計画につきましては、前回の総合教育会議でお示し、議論されたかと思えます。来週の総合教育会議では、その計画書をまとめていかななくてはなりません。そして、パブリックコメントで広く意見を求め、最終的な決定をし、秋以降は具体化に向かって先程の準備委員会の委員への委嘱をして動き出していくという予定となっています。

年度の計画については皆さんご承知かと思えますが、中学校については2年後には新中学校の開校、八坂地区では仮称ではありますが八坂小中学校という一貫校に移行していくという段階に進めていかななくてはなりませんので、教育委員会としては、通学区をどのようにするのかなど、最終的に決めていくこととなります。ただし、議会に諮らなければならない事項があります。それは、学校の位置や予算に関わる案件などを教育委員会として意見をまとめていかなければなりません。これらの決定は議会にあり、提案は市長にありますので、条例で設置管理条例を提案していかなければなりません。

24日の総合教育会議での最大の案件は、学校の位置の案件がありますので、市としての見解を示す予定でおります。

その前に、資料を準備しておりますので、その資料について説明をお願いします。

三原学校教育課長

(資料に基づき説明。)

荒井教育長 説明が終わりました。
新たな観点での比較をした資料となります。
それでは、各委員さんのご意見を伺いたいと思います。

中山教育長職務代理者 小学校地選定のはじまりは、一中、南小を活用するというイメージでスタートしたと記憶していますが、実際、議論を深め、現場を直接視察してみると、西小の小学校としての魅力はあるのだなということに改めて認識したところです。ただ、この比較資料からすると、一中校地では低学年棟の建設によりグラウンドが狭くなること、また、通学範囲が広がることでスクールバスなど通学方法も考慮する中で、また、校舎の耐用年数ということも考えると、一中の校地を中心に考えることが望ましいと考えます。

荒井教育長 仲原委員、いかがですか。
仲原教育委員 これだけの資料をしっかりと用意いただいて、解りやすい状況になったと思います。ありがとうございます。
工事の時期に伴う子どもへの影響が大きいかと改めて思いました。予算的には、一中校地を選定することが良いかと思いますが、校庭が狭くなるという課題があると思いますので、小学生らしくのびのび出来るように工夫を凝らしてやっていただけたらと思います。

荒井教育長 ありがとうございます。
甘利委員、いかがでしょうか。

甘利教育委員 一中にするのか西小にするのかということについて、次の総合教育会議において何れかに決めなければいけないのかという疑問があります。もう少し考える時間が必要ではないかと考えます。
再編審議会においても最後まで意見が半々になるくらい迷った経緯がありますので、私自身、まだ結論が出せない状況にあります。
長期的な財政を考えると一中の方がいいということはわかりますが、あの敷地の中に小学校としての必要なものを入れ込んだ時に、どのくらいグラウンドが狭くなり、その環境下での運動会はどうなるのか心配しています。

三原学校教育課長 100メートルは取れないかと思います。
中村教育指導主事 テニスコートを廃止することでグラウンド全体の面積は多少広がります。

甘利教育委員 車の乗り入れについても課題があると思います。小学校としては色んなスペースが必要になってくると思います。
受け入れる小学生も多い中、一中の広さで本当に大丈夫かという不安もあります。
もう一つ、一中は大町市にとってとても貴重な財産だと思います。様々な活用方法があるかと思いますが、敢えて手を加えなくとも他の活用方法もあるのではないかと考えているところです。
私自身決めかねているところですが、どうしても何れかを選択し

なければならぬということであれば、今日現在では、西小が教育環境としては望ましいと考えます。

荒井教育長

ありがとうございました。

下川委員、いかがですか。

下川教育委員

本日の資料から判断すると、一中を選択する可能性が膨らんできました。ただし、どちらかと言えばまだ西小かと。

財政的な比較や工事期間の比較では、特に一中における工事は自由に工事ができるという部分がメリット、一方、西小では、子どもたちが授業をしている中で工事をしていかなければならず、仮設校舎も必要となるなど、かなり子どもたちにストレスがかかるのではないかというデメリットがあります。

私自身なりに一中校舎の配置などをイメージしてみましたが、この一中の広さと南小の広さを比較した場合どうなのか考えてみました。そうしますと、公平な施設環境ということがポイントになり、ある程度設備が整った一中、相当手を入れないといけない西小の何れを使用するにしても、南小施設・環境との公平性における比較が必要になってくるものと思います。これは、次の準備委員会での議論になるかと思いますが。

環境面で考えると、今日現在では、西小校地が優れていると思います。それぞれの学校の持っている良さというものが違うので比較が中々難しい部分もありますが、

もう一つ、一中を活用した場合、小学校としての環境を開校までに造っていけるのか、また、通学路の安全確保などといった様々な課題を克服していけるのかという疑問があります。

荒井教育長

委員の皆さん、ありがとうございました。

甘利委員から、もう少し時間をかけて議論してはどうかのご意見をいただきましたが、あり方検討委員会の提言から再編審議会の答申を経て、市として、現在の原案をお示ししていかなければならない時期にきていますことをご理解いただきたいと思います。

今後のパブリックコメントや議会への説明に向けては、何れかの校地を活用する方針を示していくこととなりますので、併せてご理解いただきたいと思います。

学校の培ってきた伝統や雰囲気というものは、一朝一夕にできるものではありませんが、これからの時代を考えた時に、そういうものも大事だけれども、次の時代にどういうところに立地をして、様々な機能性や必要性についての視点も大事かと思えます。

最終的には計画書を作成し、委員の皆さんからご承認をいただき、議会にお示しし、市民の皆様にも公開していくという予定となります。

三原学校教育課長

南小に関しては、仮に、施設改修をするならば財政的にどの程度の負担が生じるかという議論も必要になってくるものと考えられ、

また、校舎の建築年数による国の補助金活用のタイミングも考慮しなければいけません。

教育次長

24日の総合教育会議で示した素案の他に、策定の経緯や今後の日程を加えたものでお示ししたいと思います。

荒井教育長

以上となりますが、皆さんよろしいでしょうか。

〔発言なし〕

では、次に事務連絡をお願いします。

柳澤学校教育課庶

（資料に基づき説明。）

務係長

荒井教育長

第7回教育委員会の日程については、7月21日（水）13時30分から、会場を東小学校会議室とします。

よろしいでしょうか。

〔発言なし〕

以上を持ちまして、第5回の定例会を閉会とします。

《閉会 午後3時40分》